

団体名	青森中央学院大学							
事業名	未来をつくる人財育成プロジェクト～「わ」も「な」も地球人～							
実施期間	平成28年5月1日～平成29年1月31日							
場 所	青森市内の初等中等教育機関、放課後クラス(コミュニティスクールの準備事業)等							
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ	大学関係者	来場者等	合計
	81	0	5	839	34	5	0	964名

<実施内容>

青森市内の初等中等教育機関(小中高)およびコミュニティスクール準備事業である「放課後クラス」、また青森県や教育委員会が主催する中高生対象の研修会において、異文化理解講座を実施しました。講座では本学に在籍する留学生が講師を務め、経験豊富な日本人コーディネーターが司会進行や理解の補助などを行います。

講座内容は学習指導要領に沿い、年齢に応じた5段階15パターンのメニューを用意し、より多くの初等中等教育機関が取り組みやすいように工夫しました。昨年度同様、授業だけでなく親子レクリエーションや保護者参観でもご活用いただき、たくさんの児童・地域の方々と交流することができました。

また今年度は、異文化理解講座ファシリテーター養成講座を開催し、留学生・日本人学生・コーディネーターが効果的な手法などを学びました。これは個々人のスキルアップだけが目的ではなく、地域と留学生をつなぐ潜在的なファシリテーターを発掘すること、ネットワークを構築することも目標としています。地域社会のグローバル人材育成、留学生の地域社会との結び付きを促進する事業となりました。

<記録写真>



マレーシアの学生にインタビュー



ベトナムの学校生活を紹介



小学1年生にタイについて紹介

<参加者からのコメント>

シム レさん(マレーシア)/Sim Le (Malaysia)

昨年から参加しているこの活動で、私はたくさんの子供たちにマレーシアのことを伝えることができました。子供たちに説明する準備のために、マレーシアのことを調べ、今では来日前より母国のことを深く理解することもできました。写真を見せた時、特に食べ物を写真を見せたときに子供たちが大きな笑顔になるのが毎回楽しみでした。もう少し時間をかけてマレーシアの民族のことや生活のことを伝えられたらよかったと思います。この活動で青森の子供たちがもっとグローバルな視野を持つことができれば、僕はそのお手伝いのできたことを誇りに思います。

I.Rさん(日本)/I.R.(Japan)

いろいろな国から青森の大学に入学してくれたりゆう学生さんたちと交流して、どの方も日本語が本当にとっても上手で、外国語も、えいがを見たりしてあきらめないでどりよくすると、できるようになるよ、という大事な事を日本語で話してくれて、すごいな、うれしいなと思いました。しかも、どのりゆう学生さんもどりよくして日本語ができるようになったそうなので、わたしもどりよくしていろいろな言葉を勉強したいです。